

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第264号

発行日 2023年12月1日発行

11月11日～12日 第1回 会宝青年塾

皆さんこんにちは。社長の近藤です。11月11日と12日で「第1回 会宝青年塾」を開催しました。会宝青年塾とは青年塾の会宝産業版ということなのですが、簡単に青年塾について紹介させていただきます。

青年塾では、人間の根っことも言うべき”人格”を魅力的なものにすることに、最大の力が注がれていて、その塾長をされている方が、上甲晃氏になります。塾長は松下電器に勤務されている時に、松下幸之助氏から松下政経塾の出向を命じられ塾頭なども歴任されてきた方です。私も11年前にこの塾に参加し、その後20名の社員が過去に参加しています。

その青年塾では昨年転機を迎え、より主体的な活動が求められる中で、なんと私に東海クラスの塾頭になってはどうかという打診がありました。これはちょっと荷が重いと思って、一度は断ったのですが、青年塾の「一歩前へ」という精神を思い出し、引き受けさせていただきました。

そして「会宝青年塾」を立ち上げようと思い、社内の青年塾OBメンバーと共に「ありたい姿」を話し合い、実現したのが今回の「第1回 会宝青年塾」でした。

その「第1回 会宝青年塾」では、石川県に鎮座する全国でも有名な白山比咩神社へ行ってきました。白山は標高が高くないのになぜ日本3大名山と言われているか。それは白山の霊山信仰が昔から盛んであったからだそうです。水の神様の話など大変勉強になりましたので、詳しくは[noteの記事](#)もぜひご覧ください。

それ以外にもこの研修の中では、禊体験・食事研修・掃除研修など、全員で共に行うことが複数ありましたが、ここで実感したことが一体感の醸成でした。禊などは、寒くて体が尋常ではないくらいに震えている社員もいましたし、食事研修では、料理が上手な人もそうでない人もいます。また掃除研修の草刈りでは、とても1人では手に負えない現状でした。その時にどうしても仲間の力が必要であり、チームで結束しなければいけない状況が訪れるのです。頭で理解することと、実践しては経験を通して実感することでは、大きな違いがあります。このような気づきを得られる場として、今後は青年塾OBではない社員も巻き込んで「会宝青年塾」を運用していきます。



●今月の出番 ●

アライアンス部アライアンス課
ディマル ブワンさんです

皆様、こんにちは。私はディマル ブワンと申します。ネパール出身で留学生として2017年に日本へ参りました。会宝産業の千葉営業所に配属されています。会宝産業に入社してから4ヶ月が経ちました。千葉営業所では車の部品の入札会をやっていますが、お客様に満足していただく仕事です。



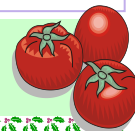
千葉営業所のスタッフと私



私の趣味は旅行することです。日本に来てから色々な所へ旅行をしましたが、栃木県の日光がとても好きになりました。山、滝と山道を見てネパールの事を思い出しました。今まで日光には5回ぐらい行きました。日本に来てからずっと千葉県に住んでいて仲の良い友達も結構います。みんなからは優しくて親切な人だと言われています。家族から離れて7年になりましたが、今まで帰国する事が中々出来ていません。家族も寂しいと思いますが、家族が良い人生を送るために私は日本へ来たので、寂しい気持ちをちょっと我慢するしかないと思います。

会宝産業に入ってからたくさんの事を学びました。日本だけでなく世界で自動車リサイクルをやる会社だと思います。将来ここから学んだ知識を自分の国にも活かしたいと思います。

農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。11月は一気に寒くなり、天候も崩れる日が多くなりました。ハウスでは廃油温風器を稼働させており、低温でトマトの生育が阻害されないように加温をしています。日中も稼働するときがあり、トマトも人も温度が確保されたハウス内では過ごしやすい状態となっています。

さて今回は前回の記事で発表できなかった10/21の収穫祭の様子をお伝えします。70名以上もの社員・そのご家族・バイヤーさんが来られました。天気は生憎でしたが、日ごろの行いのおかげか外での作業の時には雨が止んでくれて、当初の予定通り里芋・生姜の収穫をすることができました。ハウス内ではトマトの苗を植え、これからすくすくと大きくなっていくように管理をしていきます。収穫は1月下旬ごろを予定。

作業の後は当社が誇る会宝キッチンのスタッフが腕によりをかけた野菜スープとトマト販売でお世話になっているパン屋さんから調達した美味しいパンをいただきました。スープには会宝農園で収穫したオクラ・ピーマンも入っており、作業後の冷えた体に染み渡る絶品の味でした。大勢で作業をして、美味しいものを食べて、団欒して、食の大切さも学べる良いイベントだったかと思います。

12月はいよいよ冬の装いが濃くなる季節、北陸の低温・低日照でもトマトを生育するための対応、また葉物野菜も収穫・植替えなどを続け2月末ごろまで出荷をしていきます。今年も残り1か月、新年を気持ちよく迎えられるように皆様方頑張っていきましょう。（担当：畠中）

会宝農園の野菜はこちらのサイトからご購入いただけます。



ナマステ！インドAKKの宮川です。今日はインド最大のお祭り、ディワリについて（11/10-15）。ディワリ、またはディーパワリはインドで広く祝われる光の祭りです。この時期、家族や友人が集まり、華やかなランプやディヤ（油ランプ）を灯し、家を飾ります。また、花火を楽しむことも一般的です（私の印象としては花火＝クラッカーで、町中でバンバン鳴り響きます）。

このお祭りは、光が闇を打ち消すという希望の象徴であり、新しい始まりを意味します。家族やコミュニティとの絆を強めるこの時期には、物が最も売れる時期で、この時期に車を購入したり、家を購入したりすると縁起が良いとされています。

この季節になると、このクラッカーも相まって、大気汚染が深刻になるのですが、音を聞くと今年もデワリがやってきたなあという感じになります。寒さはこれからですが、年内残りの期間も頑張って参ります！



輸出最新情報 【 ケニア向け輸出動向 第3弾 】

日本からケニアへ多くの中古車が輸出されていることは広く知られていますが、その後、中古車はどこへ行くのかご存知でしょうか。ケニアに到着した日本からの中古車の一部は、タンザニアやウガンダ、ルワンダといった隣国に輸出されています。これは、ケニアが地理的にインド洋に面しており、他の東アフリカの国々にとって重要な窓口の役割を担っているためです。

近年、一部の東アフリカ国では、ケニア同様に中古車の輸入規制を設ける動きは高まりつつありますが、実態は年式を問わず多くの中古車がケニアから安く輸出されています。実際に市場調査結果から、ケニアで走っている日本車のうち、軽自動車を除く車輦が、ウガンダでも多く走っているようです。このことから、ケニア市場へ輸出ビジネスを考える際は、隣国への輸出ルートについても把握しておく必要があるといえるでしょう。（担当：橋本）



東アフリカ共同体を強調するブレスレット

今月のパチリ

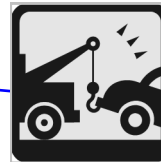


こんにちは。11月6日から当社でウガンダ人2名が参加する研修を行っています。この研修はUNIDO東京が経済産業省の資金提供を受けて実施する「日本からの技術移転を通じたアフリカにおける産業職業訓練プログラム」で、日本からは当社を含む5社が採択されました。研修の目的は、アフリカの現地エンジニアらを対象として持続可能な開発につながる日本企業の技術を学んでもらい、その知見や技術を自国で普及させることです。当社は環境配慮型使用済自動車リサイクル技術をウガンダへ移転すべく研修を行っています。当社にとってアフリカではケニア、ナイジェリアに続き3カ国目の取り組みです。これまでアフリカで実績を上げてきた人材育成や現地ならではの自動車リサイクル技術のノウハウを活かし、ウガンダでの環境配慮型使用済自動車リサイクル技術の定着を目指します。写真は研修に参加しているアレトールさん（向かって右）とウィルソンさんです。

（担当：川村）



相場情報 ～生産部より～

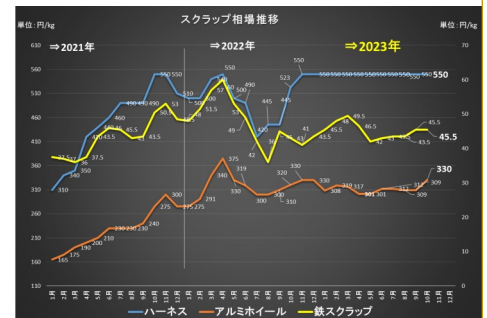


2023年11月 見込み台数
入庫台数 790台
処理台数 800台

こんにちは、会宝産業の山口です。北陸では雷の後に霰が降り、本格的な冬の入り口に差し掛かってきました。

さて、相場はというと・・・鉄に関しては需要も低位安定しており、メーカーにも在庫が潤沢に有ることから、市況は横ばいで推移しています。一方でアルミに関しては、モノ（スクラップ）が無い事で一見すると相場も上がりそうですが、製品になった後の価格が変わっておらず、こちらもスクラップ単価は横ばいの状況になっています。

銅に関してはLMEの価格は足元では回復してきましたが、依然として中国経済の先行きが見えない事で相場が乱高下しています。その結果、「先を読む」事が出来ず、銅に関しても、アルミに関しても、スクラップを回収する事業者は価格を上げ辛い状況になっています。相場は今現在、読みにくい状況ですが、それ以外の日常生活の行動の中で「先を読む」習慣をつけていく事によって、相場に活かせる何かを得られるのではないかと感じています。



今月のピックアップ

～ 元気手当受賞者決定 !! ～

先日2023年の表彰がありました。（今回の手当支給合計が564,000円でした）

おさらいですが、元気手当とは、日々の自己管理に対する報酬の意味合いで支給しています。

①病欠の日数 ②BMIの数値 ③健康診断での＊マーク数（要注意マーク）

それに応じて評価のランクは、4段階に設定しています。

昨年と比べると大きな改善が見られます。（元気手当に該当する人の比率が18%増えました）

「何が変わったのかな～」と議論をしていると「そりゃ～うちの食堂でしょ～！！」という声がありました。今年の3月から私たちは、シェフの美味しいランチを食べています。（詳細は下記QRコードをご覧ください）

そして、今年起きた大きな出来事は、過去4年間で2人しか出ていない最高額36,000円の「超健康」ランクの受賞者が2人も出たことです。全体会議での発表の時には、大盛り上がりでした。

1人は20代の女性です。やっぱり「若さは武器」です。

そして、もう1人は40代男性の単身赴任の管理者です。年齢や生活環境を言い訳にしている人もいましたが、彼のおかげでやればできるということが証明されました。彼を見習い、来年はさらに健康な人で溢れる会社を目指していきます。（担当：佐藤）

会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
（毎週木曜日更新）



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝キッチン
Instagram



ご意見ご要望はこちらまで ➡ TEL 076-237-5133 soumu@kaiho.co.jp (担当:宮村)